

解体業に係る事業計画

※本例はあくまで一つの記入例であるため、各自の事業実態に即して記入すること。

1. 事業の全体計画(業務を行う時間、従業員数、休業日、扱う車種(軽自動車、大型車)と台数)

<p>引取業者及びフロン類回収業者(〇〇商会 等)から引取りを行った使用済自動車(乗用車及び大型車)を解体し、有用部品(エンジン、ドア、バンパー等)を回収し、中古部品業者及び金属商等に売却する。 解体作業に伴い発生した廃プラスチック類については産業廃棄物処分業者に委託し破碎処分する。 解体自動車については、〇〇(破碎業者)に引渡を行う。</p>							
業務時間	8:00	～	17:00	従業員数	3 人	休業日	日・祝祭日

2. 直近3年間の使用済自動車等の引取実績及び計画

年 度	令和〇年度実績	令和〇年度実績	令和〇年度実績	許可取得後の年間計画
引取台数	480 台	510 台	500 台	700 台
主な引取先	○×販売 □◇自動車	○×販売 □◇自動車	○×販売 □◇自動車	○×販売 □◇自動車

3. 解体実績

年 度	令和〇年度実績	令和〇年度実績	令和〇年度実績	許可取得後の年間計画
年間処理実績	490 台/年	500 台/年	500 台/年	700 台/年
年間稼働日数	280 日/年	280 日/年	280 日/年	280 日/年
平均処理実績	1.75 台/日	1.79 台/日	1.79 台/日	2.5 台/日

4. 解体能力

1日当処理能力	年間稼働予定日数	年間処理能力
3 台/日	280 日	840 台/年

5. 保管の状況

使用済自動車		解体自動車	
保管量の上限	50 台 (80 台)	保管量の上限	20 台 (台)
現在保管量	20 台 (20 台)	現在保管量	5 台 (台)

※事業所以外の場所で保管している場合は、台数を()内に記入すること。

解体業に係る収支見積

※本例はあくまで一つの記入例であるため、各自の事業実態に即して記入すること。

1. 年間収支見積書

項 目		前 年 度 (** 年)		今年度見込み (** 年)	
		【 決 算 月 (* 月) 】		【 決 算 月 (* 月) 】	
		年 度 (千円)	(1台当) (円)	年 度 (千円)	(1台当) (円)
売上高 (全体)	ア(総売上収入)	16,000	32,000	32,450	41,603
売 上 原 価	イ(使用済自動車購入費)	2,500	5,000	1,400	2,000
そ の 他 経 費	ウ	11,603	23,205	13,780	17,666
うち廃棄物処理委託費	エ	750	1,500	1,170	1,500
営 業 収 益	オ=ア-イ-ウ	1,897	3,795	17,270	21,937
営 業 外 損 益	カ(主に支払利息)	0	0	0	0
経 常 利 益	キ=オ+カ	1,897	3,795	17,270	21,937
使用済自動車等年間引取台数		500 台		780 台	
使用済自動車等年間処理台数		500 台		780 台	

2. 参考事項

	前 年 度 末	現 在
負債総額：年度末残高 (千円)	20,000	20,000

(注) ① 「1台当」額は、売上原価は引取台数で、その他は処理台数で割ること。

② 使用済自動車等購入費は、最終所有者から購入した場合にはプラス、引取・処分料金を徴収した場合にはマイナスで計上すること。

③ 支払利息のみの場合又は支払利息が受取利息より多い場合は、マイナスで計上すること。